（様式2） 実行計画管理シート

事業名	64	高齢者外出支援事業	部・課	長寿社会部　長寿社会総務課

総合計画との関係	基本目標等	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	9　高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち
	（関連施策目標等）	
	（関連施策目標等）	
	4つの重点的に進める施策との関係	3　誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる
総合戦略との関係	基本目標	
	施策目標	
市長公約との関係		＜所信表明・市政運営方針での表現＞
	所信表明	
	2016(H28)年度市政運営方針	
	2017(H29)年度市政運営方針	
	2018(H30)年度市政運営方針	

事業概要（目的・内容等）	高齢者が経済的な状況により外出を控えがちとならないよう、高齢者の外出を支援することで要介護状態への進行を予防し、高齢者の生きがいと社会参加を促進する。

取り組み状況

これまでの取り組み状況		経済的な状況で高齢者が外出を控えがちとならないよう、69歳以上の市民税非課税の方を対象に、バスや電車を利用する際に、磁気カードを割引価格で購入ができる購入券を、毎年9月の高齢者保健福祉月間に送付。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・バスカードを割引で購入できる購入券の配布と、一般のKカードを購入した場合の500円補助 ・新制度の構築に向けた検討
	実績（評価）	当事業専用のスルッとKANSAI Kカードの作成及び窓口販売が中止となることを受け、事業内容の一部を変更した上で実施した。バスカードの購入については従前のとおりであるが、スルッとKANSAI Kカードについては駅券売機で購入したのち、割引分を現金で還元。 対象者49,120人に高齢者外出支援カード購入券を送付し、そのうち15,043人が利用し、バスカードは41,281枚、Kカードは5,537枚の利用があった。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	変更後の内容による事業実施。
	実績（評価）	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	変更後の内容による事業実施。
	実績（評価）	

2019(H31)年度の取り組み	予定・目標	
	実績（評価）	
備考		

課題	磁気カードの利用停止および廃止、他市取組事例についての情報収集を行いながら、現行施策に代わる外出支援策のあり方を検討する。		
今後の対応	平成28年度をもって実施終了となった高齢者外出支援カード配布事業の経過措置として、公共交通機関を利用する際の運賃助成を行う。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中		

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
外出支援カードの利用者数			―	15808	15043				8063	人
指標の説明										
カードの利用補助申請者数			対象者49,120人に高齢者外出支援カード購入券を送付し、そのうち15,043人が利用した。							

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

事業費（決算ベース）

単位：千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	29,931						29,931
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(H31)年度	0						

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）